

「新しい文化」を語る
第 34 回浜松コンファレンス開催
9 月 20 日（水）から先着順で申し込み受付開始

2017 年 9 月 19 日
公益財団法人 光科学技術研究振興財団
理事長 晝馬 明

当財団は、「文化の日に文化を語ろう」と毎年開催している「浜松コンファレンス」を、11 月 3 日（金）文化の日にアクトシティ浜松・中ホール（定員 1,000 名）で開催いたします。参加申し込みは 9 月 20 日（水）から先着順で受け付けます。

この催しは、今年で 34 回目を数えます。今後ますます光技術の重要性が認識されるなかで、今年も地域の皆様に最先端の研究を紹介させていただきます。

今年、当財団理事長で浜松ホトニクス株式会社代表取締役社長 晝馬 明が、開催にあたっての挨拶を行い、株式会社日立製作所 理事、研究開発グループ 技師長の矢野 和男氏が「人工知能はビジネスをどう変えるか」をテーマに講演します。また、講演の前に、ソプラノ 飯田みち代 氏、テノール 小貫岩夫 氏、ピアノ 青木園恵 氏による音楽鑑賞があります。

概要は以下の通りです。

記

<開催概要>

第 34 回 浜松コンファレンス「新しい文化論」

日 時：11 月 3 日（金）文化の日

開場 13：00 開演 13：30 終演 17：00（予定）

会 場：アクトシティ浜松・中ホール

主 催：公益財団法人 光科学技術研究振興財団

共 催：浜松市

後 援：浜松商工会議所、公益財団法人 浜松観光コンベンションビューロー、
浜松ホトニクス株式会社

定 員：1,000 名（先着順に受け付け、定員となり次第締め切りとさせていただきます）

参 加 料：一般 1,000 円、学生 500 円、高校生以下無料（当日会場で支払）

申し込み方法：光科学技術研究振興財団の Web サイトまたは申し込み専用電話から。

URL：<https://www.refost-hq.jp/> TEL：053-458-0008

プログラム：

13：30～ 主催者挨拶

公益財団法人 光科学技術研究振興財団 理事長

浜松ホトニクス株式会社 代表取締役社長

晝馬 明

14：00～ 音楽鑑賞

ソプラノ 飯田みち代 氏、テノール 小貫岩夫 氏、ピアノ 青木園恵 氏

15：00～ 講演「人工知能はビジネスをどう変えるか」

株式会社日立製作所 理事

研究開発グループ 技師長 矢野 和男 氏

＜今回の講演内容＞

「人工知能はビジネスをどう変えるか」 矢野 和男

人工知能が注目されている中で、実はビジネスの成果はなかなか出ていません。ビジネスの成果につながる人工知能のために、何が必要かを解き明かします。14 分野 57 案件を超える実際のユースケースを使い、今後の展望をお話します。

(プロフィール)

株式会社日立製作所 理事 研究開発グループ 技師長。

山形県酒田市出身。1984 年早稲田大学物理修士卒。日立製作所入社。1991 年から 1992 年まで、アリゾナ州立大にてナノデバイスに関する共同研究に従事。1993 年に単一電子メモリの室温動作に世界で初めて成功し、ニューヨークタイムズなどで取り上げられ、ナノデバイスの室温動作に道を拓く。さらに、2004 年から先行してウェアラブル技術とビッグデータ収集・活用で世界を牽引。論文被引用件数は 2500 件、特許出願 350 件を超える。

1994 年 IEEE Paul Rappaport Award、1996 年 IEEE Lewis Winner Award、1998 年 IEEE Jack Raper Award、2007 年 Mind, Brain, and Education Erice Prize、2012 年 Social Informatics 国際学会最優秀論文など、国際的な賞を多数受賞。



矢野 和男

＜浜松コンファレンスについて＞

浜松で「新しい文化論」を生み出す場を設けようと、1984年9月に浜松コンファレンス実行委員会が発足しました。同年の第1回開催以来毎年開催され、第17回からは浜松ホトニクス株式会社が主な出捐者となっている当財団が、光科学技術の普及啓発事業の一環として主催しています。

講演では、光技術の応用など、多分野の研究者が最先端のサイエンスで何が行われているかを分かりやすく解説し、そこから生まれる「新しい文化」について考えを発展させてきました。

昨年度の参加者は980名で、毎年ほぼ満席となります。

＜この件に関するお問い合わせ先＞

浜松ホトニクス株式会社 広報室 野澤 利行

〒430-8587 浜松市中区砂山町 325 番地の 6 日本生命浜松駅前ビル

TEL053-452-2141 FAX053-456-7888

携帯電話 090-7695-1616 (17 時以降は携帯電話にお願いします)

<浜松コンファレンス / 最近の講演テーマ> * 役職は開催時のもの(敬称略)

回 年	講演テーマ	
17 00	県西部浜松医療センター顧問・前副院長 金子 満雄	PETで見る早期老人性痴呆の実態
18 01	立川音楽工房・古楽器奏者 立川 叔男	調べは時代を超えて
19 02	高エネルギー加速器研究機構・東京大学宇宙線研究所教授 戸塚 洋二	ニュートリノ研究 20 年
20 03	高知工業高等専門学校長 中井 貞雄	レーザーと未来社会Ⅱ 新産業創成
21 04	名古屋大学大学院理学研究科教授 三田 一郎	物理学者から見た神の神秘
22 05	総合研究大学院大学理事・高等研センター長 菅原 寛孝	光で見た宇宙 ～宇宙は無から創られたか
23 06	大阪市立大学大学院・医学研究科システム神経科学教授 渡辺 恭良	疲労と意欲 ～見えてきたものといまだ見えざるもの
24 07	自然科学研究機構国立天文台教授・次世代超大型望遠鏡プロジェクト長 家 正則	すばる望遠鏡で探る 137 億年の宇宙史
25 08	国立遺伝学研究所・集団遺伝研究部門教授 斎藤 成也	光と遺伝子 ～宇宙の歴史における生命の歴史
26 09	情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所副所長・生命情報・DDBJ研究 センター長 五條堀 孝	眼の起源と進化 ～われわれはどうして光を見る ことができるようになったのか
27 10	宇宙航空研究開発機構(JAXA) 月・惑星探査プログラムグループディレクタ 宇宙科学研究所教授 川口 淳一郎	「はやぶさ」の帰還への 7 年間の 運用と、今後の展望について
28 11	東京大学教授宇宙線研究所 神岡宇宙素粒子研究施設長 鈴木 洋一郎	暗黒物質(ダークマター)の探索実験
29 12	東京大学先端科学技術研究センター 生命知能システム分野教授理学博士 神崎 亮平	昆虫パワーの科学 －昆虫からみた脳科学・ロボット・教育の未来－
30 13	大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 国立天文台長 林 正彦	現代の天文学と宇宙における生命
31 14	東京大学 国際高等研究所 カブリ数物連携宇宙研究機構 機構長 特任教授 村山 斉	宇宙に終わりはあるか
32 15	自然科学研究機構国立天文台副台長 教授 総合研究大学院大学数物科学研究科天文科学専攻 教授 渡部 潤一	宇宙生命は存在するか －天文学からのアプローチ－
33 16	東京大学宇宙線研究所 所長 東京大学 特別荣誉教授 梶田 隆章	ニュートリノの小さい質量の発見